雪道におけるスタック車両等の対策強化について

【H18豪雪の事象】

平成17年12月22日豪雪時、一般国道49号（会津地方及び猪苗代湖近辺）においては、磐越自動車道通行止めによる交通量増加、地吹雪による視程障害、路面凍結、冬タイヤ及びチェーン未装着車等によるスリップ及びスタック等が続出し、**約12時間の渋滞等**による交通障害が発生した。

【現状の取り組み】

凍結抑制剤散布の効率化やパトロール強化による情報収集の徹底等、路面管理及び情報提供をおこなっているところであるが、突発的豪雪時等、冬季の路面確保には限界があるため、道路ユーザーニーズに対し多方面からの対策が必要である。

【平成18年度の取り組みのポイント】

ソフト

①チェーン装着等に関する積極的な活動

②道路情報提供の充実

1）ラジオ放送の活用（AM、FM）（随時放送の協力依頼）

2）道路情報板、カーナビVICS情報（ｼｽﾃﾑ入力の徹底）

3）ロードセーフティーステーション、道路モニターへの広報

4）メール通知サービス登録の広報（関東圏へ） 等

ハード

①チェーン脱着場の整備（追加）

②自発光式視線誘導標の設置

③防雪柵の設置 等

【対策内容及び概要】

1．冬タイヤ（チェーン）の早期装着チラシの配布（別紙参照）

・下記警察署と協力し、一般国道49号通行車両を駐車帯等に誘導し、チラシを配布する。

（協力依頼警察署）

郡山北警察署、猪苗代警察署、会津若松警察署、喜多方警察署、会津坂下警察署

2．トラック協会への依頼文書の発出

・トラック協会に対し冬タイヤ（チェーン）の早期装着を依頼する文書を**「福島県警察本部」と連名**（予定）で発出する。

事故や交通渋滞の軽減

東北地方整備局 郡山国道事務所